



本号外では、環境大臣・内閣府特命担当大臣(原子力防災)に就任した石原ひろたかさんを特集します。

石原ひろたか衆議院議員 環境大臣に就任 内閣府特命担当大臣(原子力防災)



この度、令和7年10月21日に日本の憲政史上初の女性総理となられた高市早苗第104代内閣総理大臣(原子力防災)及び内閣府特命担当大臣(原子力防災)を拝命いたしました。

環境大臣
衆議院議員

石原宏高
(原子力防災)

この度、令和7年10月21日に日本の憲政史上初の女性総理となられた高市早苗第104代内閣総理大臣(原子力防災)及び内閣府特命担当大臣(原子力防災)を拝命いたしました。 上げます。
引き続きのご指導を宜しくお願い申し上げます。

このような大役を頂いたのも、全ては皆さまの日頃よりのご指導の賜物です。改めて感謝申し上げます。

父・石原慎太郎が約50年前に務めていた職でもあります。当時は環境に関する課題が大きく変わっていますが、父を目指し、また超えられるよう職務にまい進する所存です。

さて、環境省は、人の命と環境を守り、環境・経済・社会を統合的に向上させることで、持続可能な未来を創造するという崇高な使命を担っております。私は、この理念のもと、政府全体の環境政策を力強く牽引してまいります。

高市総理より東日本大震災からの復興再生の着実な実施、地球温暖化対策の推進、国立公園等の観光資源としての更なる活用、追加的プラスチック対策、原子力防災体制の充実・強化、気候変動問題に関する国際会議への対応などのご指示も踏まえ、人の命と環境を守りつつ、持続可能な未来をつくるために環境省・内閣府職員と力を合わせ、全力を尽くしてまいります。

友だち登録をお願いします



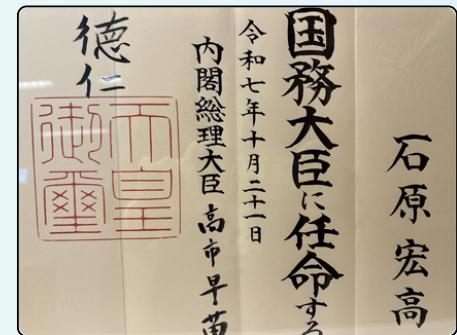
石原ひろたかさんの政策や政治信条
国会や地元・品川での活動を皆さんにお届けする公式LINEを始めました。
ぜひ友だち登録をして、石原ひろたかさんの生の声をお聴きください。



環境大臣・内閣府特命担当大臣(原子力防災)として



▲ 10/21 高市内閣 初閣議



▲ 10/21 辞令書



▲ 10/21 官邸から呼入の電話



▲ 10/25 第37回「星空の街・あおぞらの街」全国大会



▲ 10/22 大臣就任記者会見



▲ 11/8 愛媛県伊方地域を対象とした原子力総合防災訓練に向け
中村時広 愛媛県知事と高門清彦 伊方町長と意見交換



▲ 11/6 本会議場にて

・石原ひろたかさんによる環境大臣
高市総理のご指示を踏まえ、政府全體の環境政策を推進します。
内閣府特命担当大臣(原子力防災)
としての取り組み

環境政策について

再生は環境省の最重要課題です。除染や中間貯蔵、汚染廃棄物処理を進め、2045年3月までの福島県内除去土壌等の県外最終処分を実現します。アルプス処理水の海域モニタリングも原子力規制庁と協力して実施します。また、能登半島の公費解体や災害廃棄物処理を支援し、一日も早い生活再建と創造的復興を目指します。

次に、気候変動対策と脱炭素に関しては、脱炭素と経済成長の同時実現に向け、新たなNDC・地球温暖化対策計画に基づく取り組みを推進します。循環経済への移行を国家戦略として進め、経済安全保障や産業競争力の強化、地方創生に貢献します。本年、令和7年3月に取りまとめた自動車向け再生プラスチック市場構築アクションプランの実現に向け、自動車向け再生プラスチックの安定供給体制の構築を目指し、「再生プラスチック集約拠点」の検討を開始いたします。循環経済への移行加速には、国内におけるプラスチックのリサイクル体制の整備と拡充が不可欠です。経済産業省等の関係省庁

および関係業界との協力の下、継続的に取り組んでまいります。国内資源循環の推進を通じて、自動車産業の国際競争力の維持・向上を図るとともに、わが国の経済安全保障への貢献を目指してまいります。

自然環境保全と公害対策については、公園をはじめとする自然環境保全や自然共生サイトの認定促進へ取り組んでまいります。

問題に関しても着実に対処します。メガソーラーは、環境への影響が大きい無秩序な開発は規制しつつ、必要な太陽光発電とペロブスカイト太陽電池など新型電池の既存の工場屋根や屋根型の活用を推進することで、土地利用型メガソーラーへの依存度を下げるよう関係省庁と協力してまいります。

また、国際的取り組み、地球環境問題への国際交渉においても責任を持って対処します。クマ対策については、人身被害が深刻となっていることを踏まえ、①緊急銃猟に係る具体的なノウハウや教訓、事例を自治体へ共有するなど「今すぐ対応すべきこと」、②来春に向け、ガバメントセンター等、捕獲者の当面の確保など補正予算も活用しながら「短期的に取り組むべきこと」、③科学的データに基づく個体数の適切な管理手法、新技術の活用、長期的な人材確保などに来年度予算も活用し、「中・長期的に取り組むべきこと」、の3段階で至急対策を強化いたします。これらの対策の検討にあたっては、現場の声が重要であることから、地方環境事務所等を通じて環境省

へ自治体の意見を集約するよう指示もいたしました。また、あわせて関係省庁との連携も重要なことから、クマ被害対策等に関する関係閣僚会議を開催し、その上での検討にあたっては、現場の声が重要であることから、地方環境事務所等を通じて環境省

台風22号・23号について

令和7年10月9日及び13日に八丈島・青ヶ島など伊豆諸島に猛威を振るった台風22号・23号によって被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

台風23号が通過した10月14日、私は被災状況を視察するため八丈島を訪れました。島民の方々から当時の状況や避難施設の課題などについてお伺いし、流木や土砂が流れ込んだ末吉地区も訪問いたしました。今後、東京都と連携し将来的に砂防ダムの設置など根本的な対策があることを痛感いたしました。

また、復旧・復興に向けた要望についても各団体(建設・農協・漁協)の方々からお話を伺いました。

10月31日、台風22号・23号により被害を受けた八丈町と青ヶ島村は局地激甚災害(局激)に指定される見込みとなりました。なお、環境省では職員を八丈町に派遣し、災害廃棄物の処理支援を行っています。局激に指定されれば、災害廃棄物の処理費用については約9割が国費で賄われ、八丈町と青ヶ島村の実質的な負担は約1割程度となります。引き続き、八丈町・青ヶ島村の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

環境省として災害廃棄物の処理が円滑に進むよう関係各所と連携し支援を行っています。



▲ 10/14 東京八丈島 台風22号・23号 被害状況視察

石原ひろたかさんと一緒に品川のため、島のために！全力で働きます！

敬称略



石原ひろたかさんプロフィール

昭和39年6月19日生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。日本興業銀行、みずほ銀行勤務を経て、平成17年東京三区より衆議院議員に初当選。これまで内閣総理大臣補佐官(国家安全保障に関する重要政策、核軍縮・不拡散問題担当)、環境副大臣、内閣府副大臣、外務大臣政務官、衆議院環境委員長、自民党報道局長、党離島・半島振興特別委員会委員長、党環境・温暖化調査会事務局長を務める。令和7年10月21日より環境大臣・内閣府特命担当大臣(原子力防災)、当選6回

リチウムイオン電池

リチウムイオン電池による発火・火災は、早急な対応が必要な社会的課題となっています。同時に、これに含まれる有用金属の再資源化は、経済安全保障と産業競争力強化に直結する重要な施策です。こうした状況を踏まえ、関係省庁が緊密に連携し、火災防止と再資源化推進に向けた対策をスピード感を持って進めるため、令和7年10月31日、「リチウムイオン電池総合対策関係省庁連絡会議」を設置いたしました。第1回会合では、関係省庁が一体となって国民事業者への周知啓発を強化するとともに、各省庁の実効性のある取り組みを結集し、年内を目処に対策パッケージを取りまとめる予定です。

皆さまにおかれましては、身の回りの充電式製品にリチウムイオン電池が使用されているか確認の上、衝撃や圧力を避け、充電は目の届く場所で行うなど安全にご使用ください。また、お住まいの自治体のルールに従い、正しく廃棄いただくようお願いいたします。